

## 【清水中学校】 中国の中学生と交流

7月16日に清水中学校が中国・重慶市の中高一貫校、重慶育才中学校の生徒27人の訪問を受け、生徒同士の親睦を深めた。重慶育才中学校では、修学旅行を生徒の希望に応じてグループごとに国内外の各所に訪問しており、7月14日から9日間の行程で九州各地を巡るグループの中高生が清水中学校を訪れたもの。

清水中学校1年生162人が迎え入れ、互いの校歌を斉唱し、鹿山京花さんら7人が英語で学校生活の様子などを紹介した。その後、1年1組の34人が交流し、重慶育才中学校の生徒に、けん玉のやり方や折り鶴の折り方を、英語で身ぶりを交えながら説明した。

参加した小嶋康太さんは「これを機に中国との交流が盛んになると嬉しい。」と感想を述べた。

(7月19日 熊日新聞に関連記事掲載)



## 【健軍東小学校】 冊子で住民活動を紹介



健軍東小学校児童が、地域づくりに携わる地元住民を取材し、その活動を紹介する冊子を作成した。

校区内は住民の出入りが多く、学校と地域の関わりが強くない中で、学校を支える方々の活動について、児童に理解してもらうことを目的とした取組み。

今年の1月から2月にかけて当時の5年生の児童が5,6人ずつのチームを組み、地元の自治会やボランティア団体、行政機関など11団体の代表らに学校で話を聞いた。

冊子はA4版13ページで構成され、子育てサロンの開催や一人暮らしの高齢者支援、登下校時の子どもの見守りといった住民活動を紹介し、「できることがあれば自分もやりたい」など、児童の感想も掲載している。

交通安全協会を取材した宮元優里さんは「取材する前は、登下校時に見守られていることが当たり前と思っていた。これからは感謝したい。」と話した。

(8月2日 熊日新聞に関連記事掲載)

# 教育委員会からのお知らせ

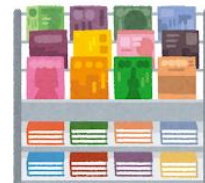
～ご案内～

## 新しい図書館サービスが始まります！

10月2日（水）から、熊本市立の図書館、図書室等で新しい図書館サービスが始まります。

### ■在架予約サービス

読みたい本の貸出状況や受取場所に関係なく、予約できるようになります。



### ■雑誌（バックナンバー）予約サービス

一般の図書と同じように、予約できるようになります。

※予約本の受取りは、貸出準備完了の連絡（電話・メール）が届いた後になります。

### ■貸出履歴記録サービス

借りた図書の履歴（タイトル・著者名等）が図書館ホームページのMyライブラリから確認できるようになります。

### ■熊本市立図書館ホームページリニューアル

より見やすく使いやすいホームページとなるよう、デザインや構成が新しくなります。図書館ホームページのURLは下記のとおり変更です。

（新）<https://www.library.city.kumamoto.jp/> ※10月2日（水）から、ご利用になれます。

### ■熊本市立図書館から発信されるメールのドメインが変更になります

<利用者情報登録（変更）・予約確認予約変更（取消）・SDIサービス>

[libsend@library.city.kumamoto.jp](mailto:libsend@library.city.kumamoto.jp)

<予約準備メール>

[citylibrary1@library.city.kumamoto.jp](mailto:citylibrary1@library.city.kumamoto.jp)



<問い合わせ先>市立図書館 TEL.363-4522

## 熊本博物館 秋の催し

～ご案内～

### ■熊本城特別公開記念 秋季特別展覧会

#### 「追憶の熊本－画家・甲斐青萍が描いた熊本城下の記憶－」

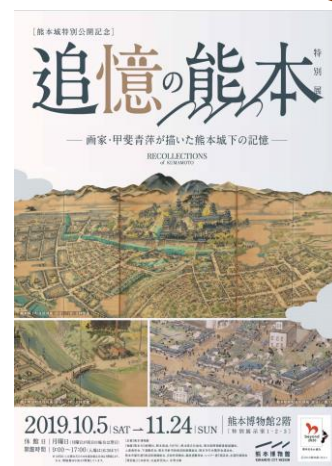
旧制・熊本中学校の美術教員を務めた画家・甲斐青萍（1882-1974）は、変わり行く熊本城下の町並みと人々の営みを自身の経験と記憶によって、描き残しました。

本展は、こうした青萍の町並図や風俗図に加え、さまざまな歴史資料・美術作品を交えながら、熊本城下の歴史的変遷を辿ります。皆さまぜひご観覧ください。

（10月5日（土）～11月24日（日））

観覧料：一般 500 円、大学生・高校生 400 円、中学生以下 300 円

※別途博物館入場料が必要です。



©香川県/©GOTO

### ■プラネタリウム新番組

#### 「星屑の鉱石ラジオ-宇宙の創生インフレーション理論-」

宇宙物理学者・佐藤勝彦氏の監修の下、氏が提唱者の1人である「インフレーション理論」を、美しい映像と音で表現したプラネタリウム番組です。この番組は佐藤勝彦氏の出身地である香川県以外では、熊本博物館が初めての放映館となります。

秋は熊本博物館プラネタリウムで宇宙の始まりを体感しましょう。

（9月12日（木）～12月1日（日））

観覧料：一般 200 円、大学生・高校生 150 円、中学生以下 100 円

※別途博物館入場料が必要です。

<問い合わせ先>熊本博物館 TEL.324-3500

### 市政に関心を！「子ども議会（中生連夏季研修会）」開催！！

8月1日、市役所議会棟にて開催した「子ども議会」に、熊本市内の公立・私立・国立の中学校の代表生徒 97 名が参加し、市政や市議会の仕組みを学びました。本市の子ども議会は、市の中生連夏季研修会を兼ねており、学校のリーダー育成も目指しています。

最初に、議会の仕組みを学んだ生徒たちは、「教育」「防災」「環境」「観光」の4グループに分かれて、各委員会室で市の職員からの説明を受けました。



そして、疑問点を質問するとともに、自分たち中学生に何ができるかを協議しました。その後、協議した意見を発表するためにタブレットを活用し、プレゼン資料をつくりました。「タブレットを使うことで話し合いがスムーズに進みました。」と生徒の感想にもあるように、初めてのタブレットを使った会議でしたが、生徒たちはすぐに使いこなしていました。その後、本議会議場で代表が意見発表を行い、市政への関心を高めることができました。

<問い合わせ先> 人権教育指導室 Tel.328-2752

### “英語漬け” 体験「イングリッシュデイ」開催！！

熊本市立中学校に通う生徒 96 人が、48 人の ALT 等と共にオールイングリッシュでの活動を体験する「イングリッシュデイ」を、8月20日、21日、熊本市国際交流会館で実施しました。生徒6人、ALT2～3人で構成される班を16班編成し、ゲーム、班紹介やコマーシャル動画作成、ローテーションでの課題クリア等、協力して様々な活動を英語で行い、班対抗オリンピック形式で得点を競い合いました。2日目、



街中で昼食をとることを選択した班は、食べたいものを ALT に英語で頼まなければならないミッションに取り組みました。英語を駆使し、身振り手振りで何とか伝えようとした生徒たちは、ユーモアあふれる優しい ALT に支えられ、コミュニケーションの楽しさと伝わる喜びを味わうことができました。

<問い合わせ先> 指導課 Tel.328-2721

### 学校教育コンシェルジュのご案内

熊本市学校教育コンシェルジュとは、学校教育に関するあらゆる相談に応じる専門スタッフのことです。「どこに相談したらよいか分からない」「学校には、あまり相談したくない」といった学校教育に関するあらゆるご相談に応じます。相談者の方の話を傾聴し、どのようにしたら状況を改善することができるか、一緒に考えていきます。

#### 子どもの**学校生活の悩み**を

**誰かに相談したいときはじっくり話をお聞きします【秘密厳守】**

<電話相談> **096-362-7171**

月曜日から金曜日（祝日・年末年始は除く）  
午前 10 時から午後 6 時 面談も可  
熊本市こどもセンターあいぱるくまもと 2F

<E-mail>  
[7171con@city.kumamoto.kumamoto.jp](mailto:7171con@city.kumamoto.kumamoto.jp)

<FAX>  
096-362-7001



# SDGs(エス・ディー・ジーズ)について

“SDGs (エス・ディー・ジーズ Sustainable Development Goals)”とは、“持続可能な開発目標”という意味で、人や自然環境を大切にして“だれ一人取り残さない”より良い生活がずっと続けられる世界を目指して、2015年に国連で世界の国々が約束した世界全体の目標のことで、SDGsは右の絵にある1から17までの目標と169のターゲット(さらに細かい目標)でつくられています。その中で“目標4”には“質の高い教育をみんなに”という目標がかかげられ、“ターゲット4.7”には、“持続可能な開発のための教育”=ESD(Education for Sustainable Development)を広げていくことが書かれています。ESDにより、一人ひとりが、世界の人々や未来のこと、自然環境のことを考えて行動できるようになることが、SDGsの達成につながっていきます。



国では、SDGsの優れた取組みを提案する県や市町村を「SDGs未来都市」として、その中でもより優れた取組みを「自治体SDGsモデル事業」として選んで、支援を行っています。今年度、熊本市は「熊本地震の経験と教訓をいかした地域(防災)力の向上事業」を国に提案し、「SDGs未来都市」、「自治体SDGsモデル事業」として選ばれました。提案の中では“環境”“経済”“社会”の3つの面から地域(防災)力を向上させることを示していますが、“社会”の面での取組みとして、学校での防災教育、ESDを進めていくことが書かれています。

これから学校でも、ESDの考えに沿った授業や取組みが行われていきますが、持続可能な社会の実現のため、みんなで勉強していきましょう。



## 4 質の高い教育をみんなに

すべての人々に包摂的かつ公平で質の高い教育を提供し、生涯学習の機会を促進する。

- 4.1 2030年までに、全ての子供が男女の区別なく、適切かつ効果的な学習成果をもたらす、無償かつ公正で質の高い初等教育及び中等教育を修了できるようにする。
  - 4.2 2030年までに、全ての子供が男女の区別なく、質の高い乳幼児の発達・ケア及び就学前教育にアクセスすることにより、初等教育を受ける準備が整うようにする。
  - 4.3 2030年までに、全ての人々が男女の区別なく、手の届く質の高い技術教育・職業教育及び大学を含む高等教育への平等なアクセスを得られるようにする。
  - 4.4 2030年までに、技術的・職業的スキルなど、雇用、働きがいのある人間らしい仕事及び起業に必要な技能を備えた若者と成人の割合を大幅に増加させる。
  - 4.5 2030年までに、教育におけるジェンダー格差を無くし、障害者、先住民及び脆弱な立場にある子供など、脆弱層があらゆるレベルの教育や職業訓練に平等にアクセスできるようにする。
  - 4.6 2030年までに、全ての若者及び大多数(男女ともに)の成人が、読み書き能力及び基本的計算能力を身に付けられるようにする。
- 4.7 2030年までに、持続可能な開発のための教育及び持続可能なライフスタイル、人権、男女の平等、平和及び非暴力的文化の推進、グローバル・シチズンシップ、文化多様性と文化の持続可能な開発への貢献の理解の教育を通して、全ての学習者が、持続可能な開発を促進するために必要な知識及び技能を習得できるようにする。
- 4.a 子供、障害及びジェンダーに配慮した教育施設を構築・改良し、全ての人々に安全で非暴力的、包摂的、効果的な学習環境を提供できるようにする。
  - 4.b 2020年までに、開発途上国、特に後発開発途上国及び小島嶼開発途上国、並びにアフリカ諸国を対象とした、職業訓練、情報通信技術(ICT)、技術・工学・科学プログラムなど、先進国及びその他の開発途上国における高等教育の奨学金の件数を全世界で大幅に増加させる。
  - 4.c 2030年までに、開発途上国、特に後発開発途上国及び小島嶼開発途上国における教員研修のための国際協力などを通じて、質の高い教員の数を大幅に増加させる。

北部中学校では、校区内にある大学や産業機関、市のまちづくりセンター、地域住民の方々と連携しながらESDを進めており、国立教育政策研究所から平成30・31年度教育課程研究指定校(ESD:持続可能な開発のための教育)の指定を受けています。今年度は10月18日(金)に「**人とつながる 社会とつながる 未来とつながるESD**」という研究テーマでESD研究発表会を開催します。

ご興味のある方は、北部中学校のホームページをご覧ください。また次号では発表会の様子をお伝えします。

With You (ウィズ・ユー) についてのご意見・ご要望をお寄せください。

編集 〒860-8601 熊本市中央区手取本町1-1 熊本市教育委員会教育政策課

TEL 096-328-2704 FAX 096-359-6951 e-mail: kyouikuseisaku@city.kumamoto.lg.jp